



平成25年1月28日

卓話 『和服の魅力と銀座のビジネス』
株式会社銀座いせよし 代表取締役社長／店主
千谷 美恵 様

いせよし

銀座伊勢由は明治元年に日本橋に創業いたしました。私で5代目になります。私は気軽に若い人たちも入りやすく勝手に呉服を見ていただけるような感じでやろうと思い、3年半前に銀座6丁目「銀座いせよし」を始めました。蓋を開けてみたら、お歳を重ねた方でも着物のことを気軽に訊くことができているということで、今、メインのお客様は大体50代ぐらいから上になっています。

着物はもちろん見た目もいいですが、実は健康にもいいということが立証されています。私は小さい時アトピーがひどかったんですけれども、着物を着るようになって汗の回路が変わったんです。芸者さんや歌舞伎の役者さんは舞台の上では汗をかかないってよく聞きますが、私もそうなんです。着物はあちこち開いていて通気性がいいからなのかなと思います。絹は抗菌作用があって更に抗酸化作用もあるんですね。UVカットの機能もあってアンチエイジングと美容にいいということが分かりました。さらに保温性と放熱性もよくて夏涼しく冬暖かい。帯はしっかり腰を締めるので、腰痛の方がするゴムバンドと同じように、しっかり腰が支えられるという効果があります。草履と足袋がまた本当にびっくりなんですけど、私、着物を着るようになって3年ぐらい経ったときに、今まで穿けなかったジーパンが穿けるようになったんです。体重が変わってないのに。足袋を穿いて草履を履くと足の指の間のツボが刺激されて腿の運動になるということをテレビで言っていたので納得しました。それとOL時代はハイヒールを履いていたので外反母趾がひどかったんで

すけれど、それもすっかり治りました。

不思議なのは、似たような姉妹とか親子でも、こっちの方には似合うけど、こっちの方には似合わないというのがあるんですね。その理由を考えると、やっぱりその人の内面の違いによるんですね。若いときに華やかなものを着るのは、内面がまだ充実してないので着物によってカバーしてもらえるからだと思いますし、年配の方が地味な結城がよくお似合いになるのは、内面に深みがでてきているからだと思います。着物は意外とお歳を召した方の方がきれいに見えるので、私は歳をとるのを楽しみにしています。着物は気楽に着ようと思えばいろんな着方があります。半幅帯にして羽織を着たままだと一日中楽に着ることができます。私は普段のものは袖を短くして、お勝手仕事なんかでも全く普通にできています。

銀座には、今はすごく減ってしまいましたけれど老舗と呼ばれる店があります。銀座はすごく高いと思われがちですけど、やっぱり銀座という街に恩恵を感じながら商売をしている店は多いので、品質やサービスは落とせないし流行を追って稼ぐという気持ちもないですね。良質でエレガントなものを提供するということが老舗の皆さんの心がけているところだと思います。

今日はありがとうございました。

